I·O DATA

HDL-GTシリーズ

必ず お読みください

B-MANU200584-03

箱の中には

※図は実際のものと異なる場合があります。

- □ HDL-GTシリーズ(1式)
  - ・本体(1台)
  - ・ハードディスク(4台)

■ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて

▼ ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。

シリアル番号(S/N)は本製品に貼られているシールに「ABC0987654ZX」のように印字してあります。

●シリアル番号(S/N)は、ユーザー登録の際に必要です。
http://www.iodata.jp/regist/
弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要です。
http://www.iodata.jp/lib/

- □ LANストレートケーブル(1本:1m)

- □ 電源ケーブル(1本:2m)
- ☑ 必ずお読みください(1枚)[本紙]
- □ Windows版セットアップガイド(1枚)
- □ Mac OS版セットアップガイド(1枚)
- □ サポートソフトCD-ROM(1枚)
- □ ロック(LOCK)キー(2個)
- □ インデックスシール(4枚)
- □ 保証書(1枚)

動作環境

パソコン本体

本製品は、「LANインターフェイスを搭載し、TCP/IPが正常に動作する機器」に対応しています。

機種	OS
LANアダプターを使用できる下記の機種 ・DOS/Vマシン ※弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認しています。	・Windows Vista™ ・Windows Server 2003※1 ※2 ・Windows 2000 Server※1 ・Windows XP ・Windows 2000 Professional ・Windows Me※3 ・Windows 98(Second Edition含む)※3
LANアダプターを使用できる下記の機種 ・Apple Macintosh ・iBook ・Power Macintosh ・PowerBook ・iMac ・eMac	・Mac OS X (10.1~10.4) ・Mac OS 8.1~9.2.2

※1 本製品上に作成した共有フォルダへのアクセス、およ びMSドメインログオン機能のみ対応し、添 付ソフトウェア、ブラウザによる設定画面操作、プリントサーバー機能等はサポート対象外です。
※2 Windows Server 2003 Standard Edition(32bit)で動作確認を行っております。
※3 HDL-GT3.0/4.0ではサポート対象外OSです。
※Windows Vista™はWindows Vista™ operating systemの略称として表記しています。

注意 弊社では、上記のOSでご利用いただく場合のみをサポート範囲とさせていただいております。上記以外のOSでご利用いただく場合のサポートは行っておりませんのでご了承ください。

設定に必要なソフトウェア

本製品を設定するには、以下のいずれかのバージョンのWebブラウザが必要です。お持ちで無い場合は、別途ご用意ください。

- ●Internet Explorer バージョン6.0以上
- ●Safari バージョン2.0以上
- ●Netscape バージョン7.0

本製品のeSATAポートにつながる機器

弊社製ハードディスク　HDC-UXシリーズ、RHD-UXシリーズ

本製品のUSBポートにつながる機器

◆弊社製ハードディスク

・HDZ-UEシリーズ	・HDOT-UEシリーズ	・HDPX-Uシリーズ
・HDW-UEシリーズ	・HDH-Uシリーズ	・HDPX-SUシリーズ
・HDW-UESシリーズ	・HDH-ULシリーズ	・HDC-Uシリーズ
・HDX-UEシリーズ	・HDH-UEHシリーズ	・HDC-UXシリーズ
・HDA-iUシリーズ	・HDH-USシリーズ	・HDH-SUシリーズ
・HDOT-Uシリーズ	・HDH-USRシリーズ	・RHD-UXシリーズ
・HDZ-UESシリーズ	・HDA-iUMシリーズ	・RHD2-Uシリーズ
		・USB2-iVDRシリーズ

◆USB対応プリンタ、デジカメ、USBメモリー
動作確認済み機種の最新情報については、弊社ホームページの製品情報をご覧ください。

◆UPS
APC社製UPS:ES500/ES725/CS350/CS500

注意 最新の対応機器については、弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/)をご覧ください。
- ●バスパワーモードのハードディスクは、本製品には接続できません。必ずセルフパワーモードでご利用ください。
- ●プリンタの双方向機能には対応しておりません。
- ●デジカメはUSBマスストレージクラスの転送に対応している必要があります。
- ●USBハブは接続できません。
- ●省電力設定の対応機器は、弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/)をご覧ください。(省電力設定の動作確認機種以外には省電力設定を有効にしないでください。)
- ●iSPIS対応ハードディスクを本製品でご利用いただく場合、iSPIS機能は使用できません。
- ●2TB(2,199,023,255,040byte)より大きい容量のハードディスク(eSATA,USB)は接続できません。
- ●HDL-GT3.0/4.0ではeSATAミラーリング機能は利用できません。

LAN環境

本製品は、LANで接続します。
パソコンがLANコネクタを搭載していない場合は、LANアダプターなどのLANインターフェイスが必要です。(別売の弊社製ETG2-PCIなど)
複数のパソコンを接続するには、ハブ (ハブ機能付きルータ含む)が必要です。(別売の弊社製ETG2-SH5WHなど)
無線LAN接続をする場合は、無線アクセスポイントと無線LANアダプタを接続したパソコンが必要です。

◆LANインターフェイスについて
本製品に接続するパソコンのLANアダプターなどのLANインターフェイスの設定をご確認ください。
(LANアダプター:LANボード、USB LANアダプター、LAN PCカードなど)
※LANアダプター使用時は、パソコンに取り付け、必要なソフトウェアをインストールして おいてください。(詳しくは、各LANアダプターの取扱説明書をご覧ください。)

■本製品の接続例

各部の名称・機能

前面　背面

No	名称	機能
①	[POWER]ランプ(パワー)	赤点灯:電源ケーブルが電源コンセントに接続されている状態(スタンバイ状態) 緑点灯:電源が入っている状態
②	[電源]ボタン	本製品の電源を入/切します。
③	[STATUS]ランプ(ステータス)	緑点灯:正常に起動完了した状態 緑点滅:起動中、シャットダウン中、チェックディスク時、本製品設定中、ファームウェアアップデート中、USBおよびeSATA機器の取り外し、マウント中、フォーマット中、バックアップ処理中 赤点滅:DHCPサーバーよりIPアドレスを取得できない状態、または、クイックコピーなどでエラーが発生している(エラーについては、設定画面内の[情報表示]メニュー→[ログ情報]で確認できます。)
④	[COPY]ボタン	前面の[USBポート1]に接続したUSB機器のデータを、内蔵ハードディスクにコピーします。
⑤	USBポート1	USB機器を接続します。 弊社製EasyDiskなどのUSBメモリーのUSB機器は、[USBポート1]にのみ接続できます。 ※接続できるUSB機器については、左の【本製品のUSBポートにつながる機器】をご覧ください。 ※[USBポート1]にバスパワーハードディスクは接続できません。必ずセルフパワーにてご利用ください。 ※プリンタを接続する場合は[USBポート2]に接続してください。 ※パソコンのUSBポートとの接続はできません。
⑥	カートリッジ固定ロック	UNLOCK:すべてのカートリッジのスライドスイッチを操作(LOCK/UNLOCK)できるようにします。 LOCK:すべてのカートリッジのスライドスイッチをUNLOCKできない(カートリッジを取り外せない)ようにします。
⑦	スライドスイッチ	UNLOCK:カートリッジをスロットから取り外したい時にスライドさせます。 LOCK:カートリッジをスロットに固定させたい時にスライドさせます。
⑧	[ACCESS]ランプ(アクセス)	青点灯:本製品内蔵ハードディスクへアクセスがない状態 青点滅:本製品内蔵ハードディスクへアクセス中 赤点灯:未フォーマットか、認識できないフォーマットのハードディスクが接続されている状態 赤点滅:ハードディスクに復旧困難なエラー(セクターエラーなど)が発生している状態 消灯:取り外し処理が完了した状態
⑨	シール貼付溝	添付の[インデックスシール]を貼る場所です。
⑩	取っ手	カートリッジを取り外す時に使用する取っ手です。 ※吸気口となっていますので、ふさがないでください。
⑪	カートリッジ1・スロット1	カートリッジを挿入する場所です。 カートリッジ交換時には、右の【オプション品について】をご覧ください。
⑫	カートリッジ2・スロット2	
⑬	カートリッジ3・スロット3	
⑭	カートリッジ4・スロット4	
⑮	シリアル番号(S/N)	12桁の英数字です。ユーザー登録やサポートソフトのダウンロードの際に使用します。
⑯	MACアドレス	「00A0B0」で始まる12桁の英数字です。
⑰	メインFAN	本製品全体を冷却します。ふさがないでください。
⑱	[ACT/LINK]ランプ(アクト/リンク)	黄点灯:LANリンク時 黄点滅:データ送受信中 消灯:LAN未接続
⑲	1000/100/10	橙点灯:1000BASE-Tで接続中 緑点灯:100BASE-TXで接続中 消灯:LAN未接続または10BASE-Tで接続中
⑳	LANポート	本製品添付のLANケーブルを接続します。 ※Auto MDI/MDI-Xですので、ストレートおよびクロスケーブルのどちらのケーブルでも接続できます。
㉑	USBポート2	USB機器を接続します。 ※[USBポート2]には、バスパワーモードのUSBハードディスクは接続できません。必ずセルフパワーにてご利用ください。 ※接続できるUSB機器については、左の【本製品のUSBポートにつながる機器】をご覧ください。 ※プリンタは[USBポート2]のみ接続できます。 ※パソコンのUSBポートとの接続はできません。
㉒	eSATAポート1	eSATA機器を接続します。 ※接続できるeSATA機器については、左の【本製品のeSATAポートにつながる機器】をご覧ください。 ※パソコンのeSATAポートとの接続はできません。
㉓	eSATAポート2	eSATA機器を接続します。 ※接続できるeSATA機器については、左の【本製品のeSATAポートにつながる機器】をご覧ください。 ※パソコンのeSATAポートとの接続はできません。
㉔	[RESET]ボタン	本製品の[IPアドレス][管理者パスワード][ジャンボフレーム]設定を初期化します。 (ハードディスク内のデータは残ります。) LANケーブルを取り外した後、本製品の電源を入れたまま、[STATUS]が点滅するまで、約2秒以上押せば初期化されます。 ※すべての設定を初期化する場合は、本製品の設定画面で行ってください。
㉕	セキュリティワイヤー取付穴	弊社製「WIRE-100」あるいは、市販のセキュリティワイヤーご利用時には、この穴にワイヤーを通してください。
㉖	ケンジントンスロット	盗難防止用のロックケーブルを購入し、取り付けることができます。 ※ケンジントンスロットについて ケンジントンロックに合うように作られたセキュリティスロットのことです。ケンジントンロックを固定された安全な机やラックなどに巻き付け、スロットに差し込みカギをかけることで盗難を防ぎます。詳しくは、Kensingtonマイクロセーバーのホームページをご覧ください。 http://www.nanayojapan.co.jp/products/security/
㉗	電源FAN	電源ユニットを冷却します。ふさがないでください。
㉘	電源コネクター	添付の「電源ケーブル」を接続します。

使用上のご注意

本製品を使用する上で守っていただきたい注意です。必ずお読みください。

全般の注意

■動作中に本製品や増設用ハードディスクの電源は切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
■本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
故障や万一に備えて定期的にバックアップ(別の場所にデータのコピーを保存すること)をお取りください。
■カートリッジを取り外す場合は、必ず[ACCESS]ランプが消灯してから取り外してください。
消灯していない状態で引き抜くと、故障の原因となったり、データを消失する恐れがあります。また、しばらく待っても、[ACCESS]ランプが消灯しない(青点灯した)場合、そのカートリッジは取り外せません。再び[スライドスイッチ]を[LOCK]状態に戻してください。
■本製品は、DHCPサーバーがある環境では、自動的にDHCPサーバーよりIPアドレスが割り当てられるため、本製品のIPアドレスを設定する必要はありません。
ただし、DHCPサーバーのない環境(パソコンにそれぞれ固定のIPアドレスを設定している環境)では、ネットワークに応じたIPアドレスを設定する必要があります。
(設定方法は、別紙【セットアップガイド】やオンラインマニュアルをご覧ください。)
■本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。
本製品にグローバルIPアドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。
■本製品を複数台ネットワークに導入する場合は、本製品のIPアドレスとLANDISKの名前をそれぞれ別々にする必要があります。
(設定方法は、別紙【セットアップガイド】やオンラインマニュアルをご覧ください。)
■本製品内蔵HDDは、本製品専用フォーマットでフォーマットされています。
他のフォーマット形式(FAT、NTFSなど)にフォーマットすることはできません。
※RAID5+FAT/NTFSモード時のスロット4のハードディスクのみFATにすることが可能です。

本製品および増設ハードディスクのデータ管理について

■設定画面で表示されるハードディスク使用領域とWindowsからネットワークドライブに割り当ててプロパティから見た使用領域の値は大きく異なります。
本製品で使用するファームウェアの表示における仕様で、ハードディスク側には問題はありません。
正しい使用領域は、本製品の設定画面からご確認ください。
■設定画面上から行うハードディスクのチェックディスク([エラーチェックのみ行う])に要する時間は、ハードディスクの状態や容量により大きく異なります。
通常は、非常に短い時間で終了しますが、ハードディスクの状態により、数分から数時間程度の時間を要することがあります。
■ACCESS(アクセス)ランプ点滅中に本製品や増設用ハードディスクの電源を切らないでください。
故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
■本製品の管理者は、すべての共有フォルダにアクセスする権限をもっています。(Windowsパソコンからアクセスする場合のみ)
セキュリティのため、共有フォルダにアクセス時のパスワードを定期的に変更することをおすすめします。
■ファイルコピー中に本製品や増設用ハードディスクの電源を切るとコピーの処理が正常に行われません。本製品や増設用ハードディスクのACCESS(アクセス)ランプを確認の上、電源を切ってください。
■Windows 98から本製品へのファイルコピー中にLANケーブルが抜けるなどして中断された場合、コピー途中のファイルが本製品上に残り消去できなくなる場合があります。
この場合は、いったん本製品の電源を切り、再度起動してからコピー途中のファイルを削除し、コピーをやり直してください。

ネットワークで共有する場合の注意

■ファイヤーウォールソフトをお使いの場合、本製品へアクセスできない場合があります。
その場合、ファイヤーウォールソフト側で、137~139番、445番のポートにアクセス許可する設定を行ってください。
■Windows Meの場合、4GB -1MB以上のファイルサイズはネットワーク経由では扱えません。
■Windows 98(SE含む)の場合、2GB以上のファイルサイズはネットワーク経由では扱えません。
■Mac OS Classicの場合、2GB以上のファイルサイズはネットワーク経由で扱えません。
■接続可能端末数について
本製品にネットワーク経由で接続可能な端末数について、Windowsでは制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。

Windowsパソコン	推奨する同時接続台数は16台まで(ネットワークドライブの割り当ても同様です。)
Mac OSパソコン	推奨する同時接続台数は8台まで(最大16台まで)

■本製品に保存できるファイルやフォルダ名は、OSにより以下の文字数までとなっています。

Windowsパソコン	半角255文字(全角85文字)まで　※使用する文字によっては、使用可能な文字数が少なくなる場合があります。
Mac OS Xパソコン	半角255文字(全角85文字)まで
Mac OS(Classic)パソコン	半角31文字(全角15文字)まで

共有、ユーザー、グループの設定時の注意

本製品出荷時には、本製品に接続できるすべてのユーザーが読み書きできる[disk1]と[dlna]という共有フォルダがあります。
新規に共有フォルダを作成することもできます。

■本製品に作成する共有には、[全てのユーザー][指定ユーザー][指定グループ]でアクセス制限を設定することができます。
■本製品に登録可能なユーザー数は最大300個、グループ数は最大100個までとなります。
1グループに登録可能なユーザーは300ユーザーまでとなります。
※登録するユーザー情報(ユーザー名、パスワード)は、WindowsまたはMac OSへログオン時のユーザー情報と一致したものを登録する必要があります。
■ユーザー名とグループ名には同一の名称は使用できません。
ユーザー名と共有名、グループ名と共有名には同一の名称が使用できます。
■ユーザー名とグループ名には数字のみの名称は設定できません。
■コンピュータ名(LANDISK)に、数字やハイフン(-)で始まる名称は使用できません。
■共有名に、スペースは使用できません。
■共有名、グループ名、ユーザー名(小文字のみ)、パスワードはすべて、半角英数字(ASCII文字)のみが有効となります。
※設定時に使用できる文字や文字数には制限があります。詳細は、オンラインマニュアルをお読みください。

USBポートにUSB機器/eSATAポートにeSATA HDDを接続する際の注意

■本製品増設ポートに増設できる機器については、左の【本製品のUSBポートにつながる機器】および【本製品のeSATAポートにつながる機器】をご覧ください。
■本製品に増設するハードディスクは、下記のフォーマット形式に対応しています。
弊社製LAN-iCN、LAN-iCN2、LANDISKで使用していたハードディスクの場合は、下記のいずれかにてフォーマットしてからご利用ください。

	対応フォーマット形式	
	FAT※1	NTFS※1
本製品での対応	○※2	△※3
パソコンに接続した場合	○	○

○:読み書き可
△:読み込みのみ可

※1 NTFSでフォーマットする場合は、ハードディスクをパソコンに接続し、パソコン上からフォーマットしてください。
(方法については、ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。)
本製品に接続後、FAT32にフォーマットすることもできます。
※2 Windows Vista™/XP/2000/Meの場合、1ファイル4G-1Mバイトまでの対応となります。
Windows 98(SE含む)の場合、1ファイル2G-1バイトまでの対応となります。
Mac OS Classicで使用する場合は、1ファイル2G-1バイトまでの対応となります。
※3 Macintosh の場合、NTFS 形式でフォーマットされた増設ディスクはマウントできません。

■本製品前面および背面のUSBポート(1、2)やeSATAポート(1、2)には、対応機器以外の機器は接続しないでください。
(USBハブも接続できません。最新の対応USB機器およびeSATA機器は、弊社ホームページhttp://www.iodata.jp/をご覧ください。)
■省電力設定の対応機器は、弊社ホームページhttp://www.iodata.jp/をご覧ください。
(省電力設定の動作確認機種以外には省電力設定を有効にしないでください。)
■2TB(2,199,023,255,040byte)より大きい容量のハードディスク(eSATA,USB)は接続できません。
■本製品本体とeSATAハードディスクでミラーリングを構築する場合は、内蔵ボリューム1の容量と同じ、あるいは大きい容量のeSATAハードディスクを接続してください。(HDL-GT3.0/4.0ではeSATAミラーリング機能は利用できません。)
■バスパワーで動作するハードディスクは接続できません。
■eSATAポート(1、2)にポートマルチプライヤー(Port Multiplier)は接続できません。
■前面の[コピー]ボタン、USBクイックコピー機能使用時の注意
・コピー開始、終了、エラーはブザーやランプで確認してください。
　コピー正常時:　ピッピッピッというブザー音とともにステータスランプが緑点灯
　コピー失敗時:　ピーピーピーというブザー音とともにステータスランプが赤点滅
・何らかの原因により、デジカメやUSBメモリより正常にデータをコピーできなかった場合の写真などのデータの補償に関して、弊社は一切の責任を負いません。
必ず、転送が完了した後、転送内容をパソコンなどによりご確認ください。
■ファイルコピー中に、ポートに接続した機器の接続や取り外しをしたり、本製品やハードディスクの電源を切らないでください。
コピーの処理が正常に行われません。本製品やハードディスクのアクセスランプを確認の上、電源を切ってください。
■NTFSフォーマットのハードディスクには書き込みはできません。読み込み専用となります。
■USB対応プリンタは、背面の[USBポート2]にのみ接続できます。ただし、プリンタの双方向機能(インク残量の確認など)には対応しておりません。
また、複合機(プリンタ機能以外にスキャナ機能やプリンタ機能等を有するもの)をお使いの場合、プリンタ機能にのみ対応します。

オプション品について

本製品のオプション品です。(2007年6月時点での発売予定も含みます。)
各製品の詳細な情報は弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/)をご確認ください。

◆カートリッジ

品名	容量
RHD-250	250GB
RHD-300	300GB
RHD-400	400GB
RHD-500	500GB
RHD-750	750GB
RHD-1.0T	1.0TB

以下の使用方法があります。

・RAID5(分散パリティ)+FAT/NTFSモード時のカートリッジ4(スロット4)交換用
本製品のRAIDモードをRAID5+FAT/NTFSにした場合に、FAT/NTFSフォーマットになっているカートリッジ4(スロット4)を取り外し、これらのオプション品と交換できます。

・RAID1+0(ミラーストライピング)時のディスクセット交換用
本製品のRAIDモードをRAID1+0にした場合の、ディスクセット保管後の、交換用カートリッジとして使用できます。
ディスクセット保管後の交換用カートリッジとしては、以下が必要です。
HDL-GT1.0の場合・・・・・「RHD-250」が2台　HDL-GT1.6の場合・・・・・「RHD-400」が2台
HDL-GT2.0の場合・・・・・「RHD-500」が2台　HDL-GT3.0の場合・・・・・「RHD-750」が2台
HDL-GT4.0の場合・・・・・「RHD-1.0T」が2台

・カートリッジ故障時の交換用
カートリッジが1台あるいは複数台故障した場合の、交換用カートリッジとして使用できます。
交換用カートリッジとしては、以下が必要です。
HDL-GT1.0の場合・・・・・「RHD-250」　HDL-GT1.6の場合・・・・・「RHD-400」
HDL-GT2.0の場合・・・・・「RHD-500」　HDL-GT3.0の場合・・・・・「RHD-750」
HDL-GT4.0の場合・・・・・「RHD-1.0T」

※1 容量の大きいカートリッジに交換した場合、自動的に小さい容量に調整されます。
※2 交換用ハードディスクにはRAIDシステムは入っていません。交換用のハードディスクのみでRAIDを再構築することはできません。
※3 HDL-GT1.0において、500GBの交換用HDDを4つ使用してHDL-GT2.0と同容量とする等、後から容量を増やすことはできません。

◆Serial ATA対応5インチベイ用内蔵ユニット

品名
RHD-IN/SA

RAID5+FAT/NTFSモードにおいてカートリッジ4(スロット4)のハードディスクカートリッジを直接パソコンで読み書きできるようになります。
また、カートリッジ4をNTFSフォーマットでご利用になる場合は、本オプション品を利用してパソコンからNTFSフォーマットを実行してください。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① 弊社ホームページをご確認ください。

サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」をご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

製品Q&A、Newsなど
http://www.iodata.jp/support/

サポートソフト・ファームウェアをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新をダウンロードしてお試しください。

最新サポートソフト・ファームウェア
http://www.iodata.jp/lib/

② それでも解決できない場合は…

住所：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター
電話：本社…**076-260-3644** 東京…**03-3254-1144**
※受付時間 9:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**
インターネット：http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番
3. ご使用のシステムバージョン
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及び、メーカー名
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

ユーザー登録

ご登録いただきました情報は、今後の製品創りに活かしてまいります。
また、弊社よりお客様へ連絡を差し上げる際にも利用させていただきます。ぜひご登録ください。
（e-mailアドレスをご登録したご希望の方へは、新製品情報満載のe-mail I･O NewsLetterを定期的にお届けします。）

登録アドレス **http://www.iodata.jp/regist/**

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
2007.6.13発行

古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

大豆インキを使用しています

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて

■検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社は一切の責任を負いかねます。バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。

■弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

■保証期間中は、無料にて修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています。）、送付日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

■必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

■下記の内容を書いたもの
返送先[住所/氏名/(あれば)FAX番号]、日中に連絡可能な電話番号、使用環境（機器構成、OSなど）、故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

■上記で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

■修理は、下記の送付先までお送りください。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

**【送付先】〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛**

修理品の返送

■修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

本製品を廃棄あるいは譲渡などされる際の注意事項

■ハードディスクに記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性があります。

●ハードディスク上のソフトウェアについて

ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

■情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。

ご注意

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
8) お客様は、本サポートソフトウェアまたは、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
9) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本サポートソフトウェアのご使用を終了させることができるものとします。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

使用ソフトウェアについて

■本製品には、GNU General Public License Version2. June 1991に基づいた、ソフトウェアを使用しております。
変更済みGPL対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。
これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

商標について

●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●Apple、Macintosh、Powerbook、iMac、iBook、FireWire、Power Mac、Mac、Mac OS、Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple Inc.の登録商標です。
●DigiOn、DiXiMは、株式会社デジオンの登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠警告

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。
火災や感電、やけど、故障の原因になります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。
分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本製品を接続する場合は、必ずセットアップガイドで接続方法をご確認になり、以下のことをご注意ください。

●ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
●接続するコネクターやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因となることがあります。
●給電されているLANケーブルは絶対に接続しないでください。給電されているLANケーブルを接続した場合には発煙したり、火災の原因となることがあります。
●接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントに接続しないでください。発熱、火災の恐れがあります。

電源プラグをコンセントに完全に差し込んでください。
ショート、発熱の原因となり、火災、感電の恐れがあります。

本製品の接続、取り外しの際は、必ずセットアップガイドで、接続・取り外し方法をご確認ください。
間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

本体を濡らしたり、浴室では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
浴室、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

濡れた手で本製品を扱わないでください。
感電や、本製品の故障の原因となります。

電源ケーブルについては以下にご注意ください。
●必ず添付または指定の電源ケーブルを使用してください。
●電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
●電源ケーブルをACコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
●電源ケーブルの電源プラグは、濡れた手でACコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
●電源ケーブルがACコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
●本製品を長時間使わない場合は、電源ケーブルを電源から抜いてください。電源ケーブルを長時間接続していると、電力消費・発熱します。

⚠注意

本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かないでください。
周辺に放熱を妨げる物を置かないでください。

動作中にシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きACタップのスイッチをOFFにするなどして電源を切らないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。
故障の原因となることがあります。
●振動や衝撃の加わる場所
●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所
●温湿度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
●強い磁力・電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
●水気の多い場所（台所、浴室など）
●傾いた場所
●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NOxなど）
●静電気の影響の強い場所
●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所での使用（保管は構いません）

[ACCESS]ランプ点滅中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

本製品は精密機器です。以下のことにご注意ください。
●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●そばで飲食・喫煙などをしない
●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

動作中にケーブルを抜かないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

本製品内部を結露させたまま使わないでください。
時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

本体についた汚れなどを落とす場合、柔らかい布で乾拭きしてください。
●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めて使用してください。
●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

本製品内部およびコネクター部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

本製品のコネクター部分には触れないでください。
コネクタ部分に触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。

動作中にケーブルを激しく動かさないでください。
接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です。
本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

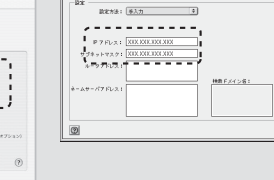
パソコンのIPアドレス

ここでは、パソコンのIPアドレスの確認手順について説明します。
また、ネットワーク内にDHCPサーバーがあるかどうかの確認手順についても説明します。

Windowsの場合、パソコンのIPアドレスは、添付ソフトウェア「Magical Finder」でも確認できます。
①「Magical Finder」で本製品を選択し、[IP設定]ボタンをクリックします。
②表示された画面下に[このコンピュータのIPアドレス]の項目に表示されている内容が現在のパソコンのIPアドレスなどの設定です。
※「Magical Finder」でパソコンのIPアドレスを変更することはできません。

パソコンのIPアドレスの確認

パソコンのIPアドレスは以下のような画面で確認できます。
確認手順および画面は、ご利用になっているOSによって異なります。
※DHCPサーバーよりIPアドレスを取得している場合はこの画面では確認できません。下の【DHCPサーバーの確認方法】の項を参照してください。

▼Windows Vista™での例　▼Windows XPでの例　▼Windows Meでの例　▼Mac OS Xでの例　▼Mac OS 9.2.2での例

Windows Vista™の場合

❶ [スタート]→[ネットワーク]をクリックし、[ネットワークと共有センター]をクリックします。
❷ [状態の表示]をクリックします。
❸ [プロパティ]をクリックします。
❹ [ユーザーアカウント制御]の確認画面が表示された場合は、[続行]ボタンをクリックします。
❺ [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。

上記のような画面が表示されます。

Windows XP/2000の場合

❶ [スタート]をクリック後、[マイネットワーク]を右クリックし、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。
（Windows 2000の場合は、デスクトップ上の[マイネットワーク]アイコンを右クリックし、表示されたメニューの[プロパティ]をクリック）
❷ [ローカルエリア接続]アイコンを右クリックし、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。
→[ローカルエリア接続のプロパティ]画面が表示されます。
❸ 一覧内の[インターネット プロトコル(TCP/IP)]をクリック後、[プロパティ]ボタンをクリックします。

上記のような画面が表示されます。

Windows Me/98の場合

❶ デスクトップ上の[マイネットワーク]アイコン（または[ネットワークコンピュータ]アイコン）を右クリックし、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。
→[ネットワーク]画面が表示されます。
❷ 一覧内の[TCP/IP]（または[TCP/IP -> xxxxxxx]）をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。
※Windows Me/98では、LANアダプターが複数ある場合、[TCP/IP -> xxxxxxx]と表示されますので、お使いのLANアダプターの名称を選択してください。

上記のような画面が表示されます。

Mac OS Xの場合

❶ [アップルメニュー]→[場所]→[ネットワーク環境設定]をクリックします。
→[ネットワーク]画面が表示されます。
❷ [表示]欄で[内蔵Ethernet]（または[Ethernet]）を選択します。

上記のような画面が表示されます。

Mac OS 8.1～9.2.2の場合

❶ [アップルメニュー]→[コントロールパネル]→[TCP/IP]をクリックします。
→[ネットワーク]画面が表示されます。
❷ [経由先]欄で[Ethernet]（または[内蔵Ethernet]）を選択します。

上記のような画面が表示されます。

DHCPサーバーの確認方法

ご利用のネットワーク内にDHCPサーバーがあるかどうか（動作しているかどうか）は、パソコン上から確認することができます。
※通常、ご使用のネットワーク環境に、「ブロードバンドルーター」「ルーター機能付きのADSLモデム」「Windows NT系のサーバー」などがある場合は、これらのDHCPサーバー機能を使用している可能性があります。
以下の手順で表示される一覧の「DHCP Server」（「DHCPサーバー」）欄にIPアドレスが表示される場合は、DHCPサーバーがあると判断できます。

Windows Vista™の場合

❶ [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を開きます。
❷ IPCONFIG -ALL（Gと-の間にスペースが入ります）と入力してEnterキーを押します。
❸ 表示された一覧中の[DHCP有効]欄に「有効」と表示されていれば、DHCPサーバーがあると判断できます。

Windows XP/2000の場合

❶ [スタート]→[（すべての）プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を開きます。
❷ IPCONFIG -ALL（Gと-の間にスペースが入ります）と入力してEnterキーを押します。
❸ 表示された一覧中の[DHCP Server]欄にIPアドレス（DHCPサーバーのIPアドレス）が表示されていれば、DHCPサーバーがあると判断できます。

Windows Me/98の場合

❶ [スタート]→[ファイル名を指定して実行]を開きます。
❷ [名前]欄に[WINIPCFG]と入力してEnterキーを押します。
❸ ご使用のLANアダプター名を選択します。
❹ [詳細]ボタンをクリックして、表示された一覧中の[DHCPサーバー]欄にIPアドレス（DHCPサーバーのIPアドレス）が表示されていれば、DHCPサーバーがあると判断できます。

Macintoshの場合

ネットワーク内にDHCPサーバーがあるかについては、ネットワーク管理者にご確認ください。

Mac OS Xの場合
上記【パソコンのIPアドレスの確認】手順の画面で、[IPv4を設定:]（または[設定:]）欄が、「DHCPサーバを参照」となっている場合は、DHCPサーバーがあると判断できます。

Mac OS 8.1～9.2.2の場合
上記【パソコンのIPアドレスの確認】手順の画面で、[設定方法:]欄が、「DHCP参照」となっている場合は、DHCPサーバーがあると判断できます。